

札幌社保協 FAXニュース

2008年 7月3日(木)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護110番
は7月31日(木)で
す。後期高齢者の
相談も受けていま
す。

反貧困！生存権を守れ！ 札幌社保協第11回総会を開催

「反貧困!生存権を守れ! 生きる権利を奪う社会保障改悪に断固立ち向かおう!」をスローガンに、札幌社保協11回総会が6月26日に開催され、加入団体から40人が出席しました。

今総会では、生きる権利そのもの—生存権が脅かされている時代の中で、1年間どのような運動とたたかいをすすめてきたのかが大いに議論されました。

札幌中央区社保協は2月の憲法シンポなどを経て6/22に結成された経過について、地区労連はローカルユニオン結が人間らしい生活を求めてたたかいを進めていること、勤医協在宅からは予防給付の利用者に様々な制限が行われている実態について、西区社保協からはこの日の国保国保・介護110番での相談事例の報告、勤医協からは特定健診の開始と実態について、東部民商からは白石区での中央バス路線廃止に反対する運動について、学童保育市連協からは市の補助金の削減や学童保育での格差の広がり・指導員の劣悪な労働条件の実態について、北区社保協からは後期高齢者の保険料相談・講師団を作ったの学習会の開催運動について、保育労組からはアレルギー除去食実施園への補助金が3年越しで実現できたこと・保育園への市有地貸与の有償化が進められようとしていることなどについて、それぞれ発言がされました。

議案、予・決算、監査報告、新役員は全員一致で承認されました。新代表となった堀毛清史勤医協理事長が、終えてきたばかりの夜間診療でお金がないために治療を続けられない患者さんの相談を受けてきたことに触れながら、「憲法25条連合と言うべき社保協が、今こそがんばり時」と閉会のあいさつを述べました。



障がい者交通費助成の 「見直し案」は、まず白紙へ戻せ

障道協・交通権を守る連絡会は、6/15に当事者の集いを開き、そこで話し合われた内容を中心に、6月20日市の障がい福祉課と折衝を行いました。

①「見直し案」は白紙に戻し、当事者・関係者・各団体参加の上検討すること。

【市側】このままの案でごり押しはできない。目下出された意見を検討中。秋までには提起したい。

②上田市長との直接懇談の場を、早期に設定してもらいたい

【市側】市長は多忙だが、実現に努力したい。

障がい者交通費助成制度の改悪をやめよ!

「見直し案」は白紙に戻して話し合え!

街頭宣伝行動

7月12日(土) 13:00~14:00

大通西3・4丁目

選出された主な役員

代表：高崎裕子弁護士、諏訪田秀樹地区労連副議長、堀毛清史勤医協理事長、佐藤宏和道生連事務局長
事務局長：齊藤浩司(勤医協)

不服審査請求を 新に取り組みます

6月末から7月にかけて、後期高齢者の保険料決定通知書が届いています。新に10月から年金天引きになる人も通知が来ていますので、「後期高齢者医療制度に怒る道民の会」では、前回に続けて不服審査請求に取り組む予定です。

●年金天引きやめよ!などを中心とした不服審査請求

後期高齢者医療制度廃止をめざす

7.19宣伝行動

日時:7月19日(土)13:00~14:00

場所:大通西3丁目